

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和4年8月5日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	鈴江コーポレーション株式会社
所 在 地	神奈川県横浜市中区日本大通7番地
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 田留 晏（たどめ やすし）
担 当 者 連 絡 先	電 話： 045-671-5330
	メール：masako_akamine@suzue.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.suzue.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

当社は、1908年(明治41年)に創業した総合物流企業です。京浜港を中心に港湾運送事業、倉庫事業及び複合輸送事業等を展開し、鈴江グループの物流ネットワークを構築してまいりました。東京港と横浜港では、コンテナターミナルを長年にわたり運営し、ユーザーの皆様には、高い信頼と評価を頂戴しています。また、東京、横浜、川崎、千葉及び茨城においては、豊富な経験と実績を元に穀物や飼料、車両、在来貨物など、あらゆる貨物を取り扱い、海上輸送と陸上輸送の一貫輸送体制を確立しています。		
3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	ハイブリッド RTG の導入	CO2 排出量の前年度比マイナス 1%
□環境 ✓社会 □経済	健康経営の推進	横浜健康経営認証のランクアップ(A から AA)
□環境 □社会 ✓経済	サービス品質の維持、向上	国際認証の取得（例：横浜ターミナル/ISO9001）

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメントを禁止する旨を、就業規則に明記し、相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	部署ごとの時間外労働時間を役員や管理職に定期的 に開示することで過度な長時間労働の防止に取り組ん でいる								8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・中央安全衛生委員会を設置し、定期的に安全パト ロールを行っている。また、定期的に安全衛生会議を 開催している ・大井臨海倉庫営業所で、ISO45001を取得している			3					8							
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	健康に関するアンケートを実施し、現状の把握に努めて いる			3												
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の 整備に取り組んでいる	多様な人材が活躍できるよう、短時間勤務や定年後再 雇用制度を取り入れている (令和3年度:短時間勤務者7名、定年後再雇用者9 名)					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・職務や役職に応じた外部研修の受講や、通信教育受 講希望者には一定額の補助を支給 ・新入社員に、通関士研修を実施している				4	5.5			8	9						
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3					
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	かながわ健康優良企業の認定、横浜健康経営認証を 取得している			3					8							
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	エコシュレッダー車による古紙回収、リサイクルを行って いる											11.6	12.4 12.5		14.1	
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	自社のエネルギー使用量を把握し、前年比マイナス 1%を目標に省エネに努めている							7.3						13		
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	省エネタイプの荷役機器や車両を導入することで、温 室効果ガス排出量の削減に努めている							7.2 7.3					12.4	13.3		

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	新杉田埠頭倉庫営業所では危険品を扱うため、ブルーシーオイルフェンス及び手動式オイルフェンス巻取機を設置し、生態系に悪影響を及ぼさないよう努めている						6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	大黒埠頭事業所で、ISO14001を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	新杉田埠頭倉庫営業所及び姉ヶ崎物流センターにおいて、太陽光発電パネルを設置している							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	東京ターミナル事業所でISO9001、お台場流通センターでJIS Q 9100を取得している									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	フードバンク活動を行っているNPO法人へ倉庫保管、運送協力、作業の提供実施といった物流面で支援している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	「よこはま子どもの貧困対策」基金に寄付を行っている				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	横浜市Y-SDGs認証を取得、かながわSDGsパートナーに登録を行っている								8	9		11	12	13				

令和 5 年 9 月 19 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	神奈川県横浜市中区日本大通 7 番地
名称：	鈴江コーポレーション株式会社
代表者：	代表取締役社長 田留 晏
登録年月日：	令和 4 年 9 月 21 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	ハイブリッド RTG の導入	CO2 排出量の前年度比 マイナス 1%	2023 年 4 月よりハイブリッド RTG が 2 台供与開始となったが、コンテナの取扱い増加に伴い排出量が増加した。省エネの徹底と荷役作業機器の入替えによる燃費向上に取り組んでいる。
□環境 ✓社会 □経済	健康経営の推進	横浜健康経営認証のランクアップ(A から AA)	「横浜健康経営認証 2023」で AA へランクアップした。9 月には、横浜市の協力を得て健康セミナーを実地開催した。
□環境 □社会 ✓経済	サービス品質の維持、向上	国際認証の取得(例: 横浜ターミナル/ISO9001)	2022 年 10 月横浜ターミナル事業所で、品質マネジメントシステム「ISO 9001:2015」を取得。

令和 6 年 9 月 20 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	神奈川県横浜市中区日本大通 7 番地
名称：	鈴江コーポレーション株式会社
代表者：	代表取締役社長 田留 晏
登録年月日：	令和 4 年 9 月 21 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
☐ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	ハイブリッド RTG の導入	CO2 排出量の前年度比 マイナス 1%	2023 年度は CO2 排出量の前年度比マイナス 1%を達成した (マイナス 12.3%)
☐ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	健康経営の推進	横浜健康経営認証のランクアップ(A から AA)	「横浜健康経営認証 2023」で AA へランクアップした。また、 2024 年に健康経営優良法人認定(中小規模法人部門)に認定された。
☐ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	サービス品質の維持、向上	国際認証の取得(例:横浜ターミナル/ISO9001)	2022 年 10 月横浜ターミナル事業所で、品質マネジメントシステム「ISO 9001:2015」を取得。 2002 年 10 月に同認証を取得済の東京ターミナル事業所と同様に、認証を継続することでサービス品質向上に努めている。

令和 7 年 10 月 15 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	神奈川県横浜市中区日本大通 7 番地
名称：	鈴江コーポレーション株式会社
代表者：	代表取締役社長 田留 晏
登録年月日：	令和 4 年 9 月 21 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	ハイブリッド RTG の導入	CO2 排出量の前年度比 マイナス 1%	2024 年度は CO2 排出量の前年度比マイナス 1%を達成できなかったが、原油換算のエネルギー消費原単位は前年度比 89.4%となった。
□環境 ✓社会 □経済	健康経営の推進	横浜健康経営認証のランクアップ(A から AA)	2023 年度 AA にランクアップ済で 2024 年度も維持。また、2025 年 3 月に健康経営優良法人認定(中小規模法人部門)に継続認定された。
□環境 □社会 ✓経済	サービス品質の維持、向上	国際認証の取得(例:横浜ターミナル/ISO9001)	横浜ターミナル事業所では 2022 年 10 月に取得した「ISO 9001:2015」を維持。2002 年 10 月に同認証を取得済の東京ターミナル事業所と同様に、認証を継続することでサービス品質向上に努めている。